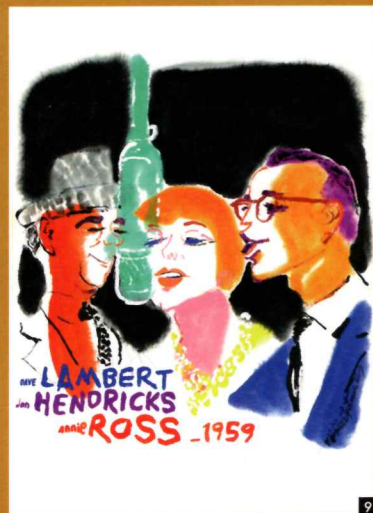
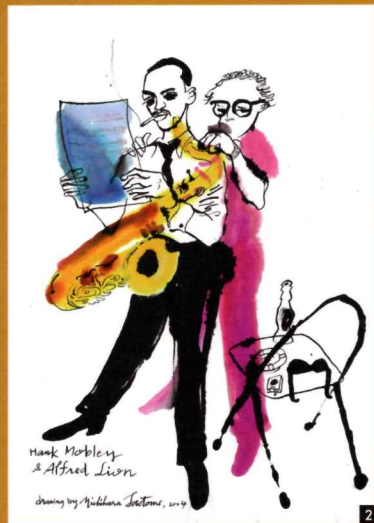
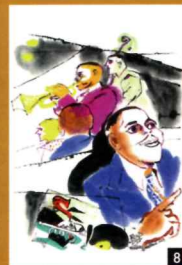
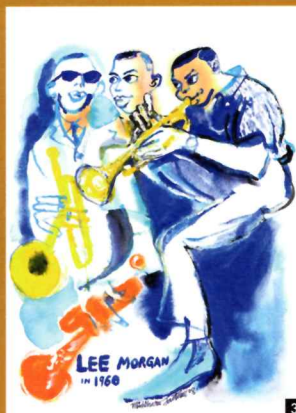
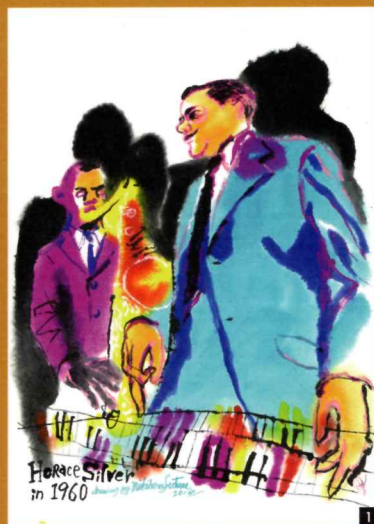


# AV7-A-GO-GO!

## MICHIHARU SAOTOME Exhibition

早乙女道春はイラストレーターを志す以前の10代前半からどっぷりとジャズ、そしてジャズマンの格好良さに心酔していました。現在の作品制作においてジャズの影響が多分にあります。例えば、クライアントとの初めての打ち合わせの場でも「対話を繰り返す中で重要なポイントをつかみ取って、その場でラフを描いてコンセンサスを得る」といった具合に「瞬間を捕まえる」の根底にはジャズのライブ感が大きく影響しています。その感性で音楽、演劇、旅などをテーマに描いたイラスト画を見る者をそのライブ会場に誘い感動が直接伝わる作品をお楽しみください。



- 1 Horace silver in 1960
- 2 1960 Hank Mobley and Alfred Lion
- 3 1960 Lee Morgan
- 4 1953 Chet Baker Drawing for Men's Bigi
- 5 1961 Eric Dolphy and Booker Little
- 6 1961 Cannonball & Nat Adderley Bros.
- 7 Arnett Cobb with Hamp 1944
- 8 Bird and Diz
- 9 Annie Lambert, Hendricks and Ross 1959



illustrator

早乙女 道春

1966年東京生まれ。数多くのアーティストを輩出している長沢節主宰セツ・モードセミナーで人物デッサンと水彩風景画を学び、卒業後は穂積和夫氏に師事、アシスタントを務める。1992年からはフリーとして活動、雑誌「Popeye」や「MEN'S CLUB」をはじめ書籍の装画、CDジャケットなどで注目を集める。1993年には「スウィング・ジャーナル」誌が選ぶ新作ジャケット優秀アートワーク賞を受賞。1995年からは立川直樹・森永博志と組んで全日空機内誌「翼の王国」で国内外取材し、描いた絵で人気を博す。その後も「BRUTUS」「Esquire」「GQ」「Number」...など数々の雑誌やベストセラーとなったピージー・アデルの「My Piano Romance」シリーズをはじめとするCDジャケットなどの仕事が続き、2015年からは「BOTTEGA VENETA」などの広告の仕事もするようになる。ジャズ・ミュージシャンの絵を描かせたら当代随一。そのセンスとフィーリングを生かしてライブ・ドローイングの名手としての評価も高まり、現在に至っている。装飾画を担当した本はかなりの数に及び、展覧会も催している。

日時

2025年3月8日(土)~3月30日(日)

※休館日の12日(水)、26日(水)を除く

日・木 10:00~17:00

金・土 10:00~19:00

会場

金沢市文化ホール

会議棟1階展示ギャラリー

石川県金沢市高岡町15番1号

入場料

無料



問い合わせ先: ケイ・シー・エス [TEL] 076-224-4141 [10:00~18:00 (土・日・祝日を除く)]

主催: 金沢市芸術文化ホール共同事業体[(公財)金沢芸術創造財団/ケイ・シー・エス]

共催: 北国新聞社/(一財)石川県芸術文化協会 後援: 北陸放送/テレビ金沢/金沢ケーブル/エフエム石川/ラジオかなざわ・こまつ・ななお

協賛: 江戸ワンダーランド 日光江戸村/NKB/金沢東急ホテル/久住高原くしふるリトリートヴィラ/強羅花扇/Blue Bar/Mono-ya/レオン

協力: 金沢市 制作協力: COHERENCE/テクニクス 撮影協力: 渋谷SWING 企画: 立川事務所

※五十音順